



JAPANESE B – HIGHER LEVEL – PAPER 1
JAPONAIS B – NIVEAU SUPÉRIEUR – ÉPREUVE 1
JAPONÉS B – NIVEL SUPERIOR – PRUEBA 1

Monday 6 May 2002 (morning)
Lundi 6 mai 2002 (matin)
Lunes 6 de mayo de 2002 (mañana)

1 h 30 m

TEXT BOOKLET – INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for Paper 1 (Text handling).
- Answer the questions in the Question and Answer Booklet provided.

LIVRET DE TEXTES – INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- Ne pas ouvrir ce livret avant d’y être autorisé.
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l’épreuve 1 (Lecture interactive).
- Répondre à toutes les questions dans le livret de questions et réponses.

CUADERNO DE TEXTOS – INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos requeridos para la Prueba 1 (Manejo y comprensión de textos).
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

テキスト A

図書館のお客様へ

～おたがいに気持ちよく図書館を利用して (1a) ために～

市立図書館ではご来館のお客様に読書や調べものなどそれぞれの目的に合わせて、2 ゆったりと気持ちよくすごして (1b) と思っております。

職員もできるかぎり心をくだいておりますが、お客様のご協力をお願いいたします。

図書館では次のことはおことわりしております

- ・お酒を飲んだ方のご来館
- ・飲食
- ・喫煙 (トイレ内も)
- ・携帯電話の使用

他のお客様に迷惑^{めいわく}になりますので、次のようなことはご遠慮^{えんりよ}ください

- ・大きな声でおしゃべりをする
- ・図書館内を走る
- ・荷物をおいて席を取る
- ・荷物をおいたまま長時間席をあける
- ・ソファーに寝ころぶ

小さいお子さまをお連れのお客様に (3a)

- ・小さいお子さまからはなれないでください
- ・利用した本やおもちゃは、もとの場所にかたづけてお帰りください

ビデオ・ブース、CD のリスニング・ブースをご利用の方に (3b)

- ・必ずヘッドフォンを使用してください

テキスト B

ユニバーサル・スタジオ®

このテーマパークの歴史は 1915 年、
 カール・レムルがロサンゼルスに
 「ユニバーサル・シティ」という
 映画撮影所を作ったことに始まります。
 この撮影所に来た人々は映画の制作風景
 を野外席で見ることができ、「関係者
 以外立入禁止」であった撮影所が広く
 一般に開放されました。やがて、これはテーマパークへと発展。
 1964 年には映画とテレビ制作の現場を公開した「ユニバーサル・



スタジオ・ハリウッド®)、1990 年には
 「ユニバーサル・スタジオ・フロリダ®」
 が誕生しました。このテーマパークは、
 オープン以来年間 1200 万人以上の観客を
 呼びよせ続けています。シンボルのゲート
 はハリウッドやフロリダと同じものが日本
 にも作られます。「ユニバーサル・スタジ
 オ」は、ハリウッドの最も素晴らしい瞬間
 にみなさんを引きこむでしょう。

レストラン&ショップ

映画の世界を 100%体験していただく
 ため、ユニバーサル・スタジオ・ジャ
 パン®では映画をテーマにしたレスト
 ランで、人気映画のシーンをコピーし
 たインテリアやパフォーマンスなどの
 サービスとお料理を提供します。
 また、ショッピングはハリウッド映画
 に出てくる有名なロデオドライブや
 ニューヨークの 5 番街でどうぞ。
 映画グッズやファッション、アトラク
 ションのオリジナルグッズ、いろいろな
 おみやげものがあるバラエティ豊かで
 ユニークなショップをたくさん発見で
 きることでしょう。



テキスト C

9 8 7 6 5 4 3 2 1

黒板に文字を書く手を休めればほろりと君を思う数秒^{びよう}
ふとした時の割れ目から、気にかかること、ほろ、ほろり。ほんの数秒こぼれ
て落ちて、私の頭をかすめて消える。
一瞬^{しゅん}、ワープするところ。次の一瞬、またワープ。なにもなかったように右手
は、つづきの文字を書いてゆく。
一生懸命^{いっしょうけんめい}ノートに写している彼女たち、彼たち。ほろりほろり君たちの心も
ワープすることがある？
いろんなワープの一瞬が、きらりきらり教室のなか。先生の顔、生徒の顔。
女の顔、男の顔。

注：「ワープ (warp=ひずみ・曲がり)」とは、SFで宇宙船が宇宙空間のひずみを利用して超高速飛行をすること。心が時間・空間を超えて瞬間的に移動する意味にも使われる。

テキストD

子どもたちの社会参加をめざす雑誌が大阪で生まれた。高校生や大学生が社会の様々な問題取材し、執筆する。名前は「Ever Freedom for Children (EFC)」。「子どもたちの永遠の自由」という意味だ。年3回のペースで発行していく。

-23-

-24-



雑誌作りについて話し合うEFCのメンバーら—大阪市北区で

大阪市内の高校生黒河内政行さん(17)と辻井悠さん(18)が、カンボジアの子どもと交流するツアーで知り合った高校生らに呼びかけ、昨年6月から準備してきた。今月初めに出した創刊号はA4判、40頁。5人の記者が、アルミ缶のリサイクル問題や、在日コリアンの同級生

環境・人権・経済 取材して発信

川人理恵さん(18) 中学のときから、国際協力のことにかかわりたいと思ったけど、自分の本当のやりたい情報はなかなか見つからなかった。そんな情報を発信できればいいな。

堤美央さん(16) カンボジアに行ったとき、日本の子供とはずいぶん状況が違

意気込む子ども記者

うと思った。みんなにそうした事実を知らせたいし、自分も書くことで疑問を深く掘り下げていきたい。

佐川あかりさん(15) カンボジアについて友だちに報告はしたが、「どう思う？」とさらに突っ込んで聞けない自分がいやだった。読者も記者も一緒に考えられる場になりたい。

と自分とのかかわりなどをテーマにつづっている。

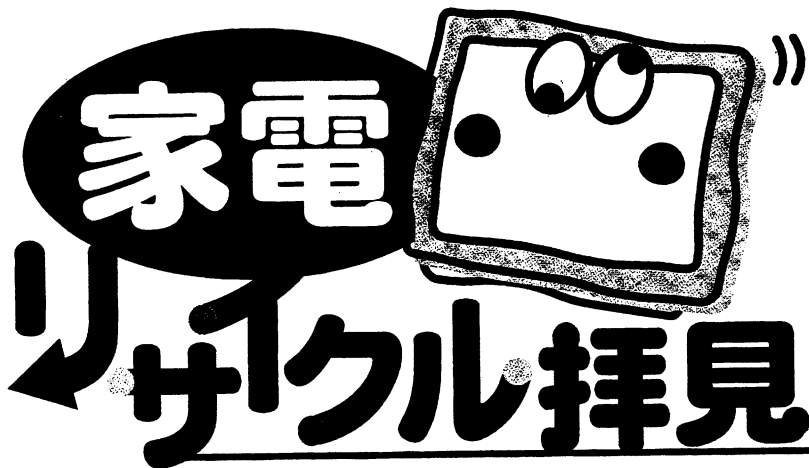
編集長の黒河内さんは、子どもの権利を考える市民グループにかかわってきた。学校でも地域でも「おかしい」と思ったことを発言する場がなく、みんな「大人の言うことは絶対」と思い込んでいるように思えた。

事務局長の辻井さんは、小学校5年から中学卒業まで不登校だった。生協のアルバイトを通じて「食」や環境の問題に興味を抱いたという。

「例えばタイオキシン問題がなぜ起きたのか、何が問題なのか、子どもに分かる説明がない。問題の全容を知らされずに将来を担わされるなんておかしいと思った」と話す。

雑誌は、定期購読を申し込んだ会員・賛助会員に郵送する。社会参加につなげる。

テキスト E



- A.
次に、テレビにはってある家電リサイクル券の番号をチェックします。リサイクル工場できちんと分解されたことを記録するためです。この後、工場の人がひとつひとつ手でテレビを分解します。
- B.
テレビは分解する前に、重さをはかります。どれだけリサイクルしたかは重さで表すことになっているからです。テレビのリサイクル率は55%と決まっております。重さ20キロのテレビからは11キロの^{きんぞく}金属やプラスチックを取ることができます。
- C.
ブラウン管や電線、小さな電子部品をまとめたプレート、プラスチックや木でできた外側の箱（キャビネット）などに分けます。ネジの1本まで捨てずに集めます。
- D.
ここはリサイクル工場です。家電メーカーなどが共同で新しくつくりました。40人ほどの従業員によって、一年に最大600,000台の家電リサイクルが可能です。テレビを例に、どのようにリサイクルされるのかを見てみましょう。
- E.
その他、残りの部品は別の工場に運び、ブラウン管からガラス、電線やネジなどから^{てつ}鉄や^{どう}銅などの金属を取り出して再利用します。
- F.
分解後、キャビネットを機械でこわしてくずにします。プラスチックや木のくずは発電などの燃料に使います。